

新型コロナウイルス感染症についての 市長メッセージ

全国的に新型コロナウイルス感染症の感染が拡大しています。都市部を中心に、1日の感染者数が過去最多を記録するなど、感染拡大に歯止めがかからず、誰もが感染リスクのなかで生活している状況となっています。茨城県においても、感染者が増加していることから、県のコロナ感染対策指針(茨城版コロナNext)をステージ2から3に強化し、対応しているところです。

こうしたなか、本市の職員においても、複数の感染者が確認され、クラスターが発生したと認定されました。この事態を重く厳粛に受けとめ、これまでも増し、市職員に対する感染防止策についての指導を徹底し、市民の皆さまに安心して市役所を利用していただけるよう努めてまいります。市民の皆さまにはご心配、ご迷惑をおかけしたことを深くお詫び申し上げます。

これから季節性インフルエンザの流行期を迎えるなか、医療体制を崩壊させないためにも、感染症予防の取り組みがとても大切になります。

市民の皆さまにおかれましても、引き続き、手洗い、マスク着用の徹底、3密を避けるなど、基本的な感染予防をあらためて徹底するようお願いいたします。

令和2年11月18日

土浦市長 安藤 真理子

油断は禁物!

マスク  と距離  $\langle \dots \dots \rangle$  $2m$  を

忘れずに!

感染リスクが高まる「5つの場面」

これまでの感染拡大の経験から、感染リスクが高い行動や場面が明らかになってきました。一方で、屋外や、十分に換気がされている公共交通機関での感染は限定的と考えられています。

新型コロナウイルスの伝搬は、主に「クラスター」を介して拡大することが分かっています。市民の皆さまには、引き続き、感染リスクが高い行動を避けていただき、クラスター連鎖を抑えて、感染拡大防止にご協力をお願いします。

場面1 飲酒を伴う懇親会など

- 飲酒の影響で気分が高揚すると同時に注意力が低下する。また、聴覚が鈍麻し、大きな声になりやすい。
- 特に敷居などで区切られている狭い空間に、長時間、大人数が滞在すると、感染リスクが高まる。
- 回し飲みや箸などの共用が感染リスクを高める。



場面2 大人数や長時間に及ぶ飲食

- 長時間に及ぶ飲食、接待を伴う飲食、深夜のはしご酒では、短時間の食事比べて、感染リスクが高まる。
- 大人数、例えば5人以上の飲食では、大声になり飛沫が飛びやすくなるため、感染リスクが高まる。



場面3 マスクなしでの会話

- マスクなしに近距離で会話をすることで、飛沫感染やマイクロ飛沫感染での感染リスクが高まる。
- マスクなしでの感染例としては、昼カラオケなどでの事例が確認されている。
- 車やバスで移動する際の車中でも注意が必要。



場面4 狭い空間での共同生活

- 狭い空間での共同生活は、長時間に渡り閉鎖空間が共有されるため、感染リスクが高まる。
- 寮の部屋やトイレなどの共用部分での感染が疑われる事例が報告されている。



場面5 居場所の切り替わり

- 仕事での休憩時間に入った時など、居場所が切り替わると、気の緩みや環境の変化により、感染リスクが高まることもある。
- 休憩室、喫煙所、更衣室での感染が疑われる事例が確認されている。

